

討論

会派の構成人数により文字数に違いがあります。

下水道使用料 また値上げ

債務の返済を市民に押しつけるな

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

下水道事業会計の独立採算制への移行に際しては、急性に使用料値上げという形で市民への負担を強化するのではなく、当面の間は都市計画税

福祉施策が全国で高い評価 「チーム座間」の実績として賛意を表す

自民党・いさま(竹田 陽介 議員)

平成29年度座間市一般会計歳入歳出決算の認定について、生活困窮者自立支援事業は、これまで実施してきた自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、子どもの学習支援事業、家計相談支援事業に就労準備支援事業を加え、支援体制の強化が図られました。

新規相談件数412件、プラン作成件数124件、新規就労決定者数151名の実績を上げ、厚生労働省の生活困窮者自立支援制度全国担当者会議の資料に、優良自治体として掲載されました。全国的にも高い評価を受け、オンラインサイト、専門誌、テレビ等で報道されるなど、注目を浴びた本市の生活困窮者自立支援事業について、一人一人の相談に向き合いながら地域の取り組みとともに育んできた「チーム座間」の素晴らしい実績として、大いに評価します。

一般会計補助金削減のための

下水道使用料値上げに反対

日本共産党(守谷 浩一 議員)

座間市下水道条例の一部を改正する条例に反対の討論を行います。本議案は、来年度から一般汚水の基本使用料を815円から895円に値上げ、従量使用料も増額して平均改定率9・81%の値上げという内容です。公共下水道事業会計は独立採算制で一般会計からの繰入金を削減する方向ですが、下水道使用料を値上げた分が雨水の整備率向上などにつながるわけではなく、一般会計決算や財政調整基金残高からすれば、2017年度決算で約1億6千万円



中長期の展望に立った市政運営を評価

公明党(上沢 本尚 議員)

議案第53号、平成29年度座間市一般会計歳入歳出決算の認定について、当該年度の決算は、歳入総額436億9288万9670円で前年度比5・6%の増、歳出総額は424億9772万5471円で前年度比5・5%増となり、過去最高の決算額となりました。また、年度末の財政調整基金の残高は、前年度に比べて11億7128万2千円増の21億6054万7千円で過去最高となり、年度間の財源調整や災害発生等、不測の事態に対応することができると大いに評価します。



主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律を求める陳情に賛成!

会派に属さない議員(加藤 陽子 議員)

主要農作物種子法の制定により、国や都道府県が予算化し、地域に合った多様な優良品種を公共品種として生産、普及を進めてきましたが、国の自由化推進の中で種子法が廃止となりました。グローバル企業による種の支配が危ぶまれる中、自給力の向上が重要であり陳情に賛成します。

人命優先の対応を高く評価

ざま進進会(佐藤 弥斗 議員)

危険ブロック塀等撤去補助事業費は、一般道路に面している、倒壊や転倒の危険性がある高さ60センチメートル以上のブロック塀などの撤去に對し、通学路では費用の4分の3、補助限度額15万円、その他の道路では2分の1、補助限度額10万円を補助するための費用です。補助制度創設後は、生け垣設置奨励金など



緑地保全に逆行

工場立地に関する条例に反対

会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

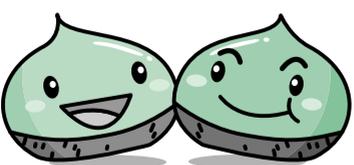
座間市工場立地法第4条の2第1項の規定による準則を定める条例は、製造業を集約すべき用途地域について既存の緑地等を確保しつつ、今ま

県に対する積極的な働きかけと

計画的な事業執行を評価

ざま大志会(沖本 浩一 議員)

平成29年度座間市一般会計歳入歳出決算の認定について、当該年度の新規事業である地下水総合調査事業の成果として、市域全体の地下水位の変動を把握するモニタリング体制の構築や湧水量調査の地点を選定し調査を実施したことなどが挙げられています。本事業は第3期かながわ水環境保全・再生実行5か年計画



- 23 高座清掃施設組合議会 第2回定例会
- 24 大阪府高石市議会視察 来訪
- 25 閣東市議会議長会第1 回理事会：茨城県水戸市
- 厚木基地騒音対策協議 会要請活動：防衛省、 外務省
- 2 議会だより編集委員会
- 5 全国市議会議長会基地 協議会関東部総会： 東京都福生市
- 11/1 宮城県蔵王町議会視察 来訪
- 7 全国市議会議長会第1 05回評議員会：東京 都千代田区
- 9 議会運営委員会
- 12 全国市議会議長会基地 協議会第92回理事会： 東京都千代田区
- 14 全国市議会議長会研究 フォーラム：栃木県宇 都宮市(15)